ぐるっとまつもと
Gurutto Matsumoto

令和７年度　松本市地域公共交通
評価検証報告書

令和７年４月～令和８年３月分

■総括：全体

令和７年度の年間利用者数は、本報告書の対象となる路線の合計で 2,437,121 人となり、令和６年度の 2,407,273 人から 1.2%増加した。
増加分の大半はタウンスニーカー（＋27,361 人）によるもので、一般路線とコミバスはほぼ横ばい、市営バスは減少した。

区分	令和６年度	令和７年度	増減率	概　況
Ⅰ　エリア一括協定　一般路線	2,285,236	2,318,562	＋1.5%	タウンスニーカーが牽引。一般路線は横ばい
うち一般路線（21路線）	1,946,498	1,954,365	＋0.4%	主要幹線は前年度並みで推移
うちタウンスニーカー	330,243	357,604	＋8.3%	北・東コースがともに増加
うち合庁ライナー	7,586	6,593	△13.1%	減少に転じた
Ⅱ　エリア一括協定　コミバス（７路線）	97,534	97,135	△0.4%	路線間で増減が分かれ、全体では横ばい
Ⅲ　公設公営路線（市営バス・２路線）	24,503	21,424	△12.6%	２路線とも減少
合　　計	2,407,273	2,437,121	＋1.2%	

■ 区分別の評価

Ⅰ　一般路線

・タウンスニーカー北・東コースが増加を牽引。南コースは横ばい
・一般路線は主要幹線が前年度並みで推移し、全体としては微増

Ⅱ　コミバス

・村井・山形線が過去最多の31,473人、南松本・山形線も１便あたり3.03人と過去最高
・一方、梓川・波田線（0.87）と平田・村井線（0.69）は減少

Ⅲ　市営バス

・四賀循環線（0.85）、奈川・安曇線（0.92）とも減少
・四賀循環線は１便あたり2.26人まで低下している

■ 全体を通じた課題

・利用の二極化

主要幹線・観光路線が堅調な一方、生活対応の支線や中山間地域の路線は減少傾向にある

・利用低調便の存在

南松本・平田線、平田・村井線、市営バスの夜間便など、１便あたり1.0人前後以下の便が複数路線に残る

・センサーデータの取得精度

アルピコ路線における赤外線センサーによる実測値の合計は1,937,612人→1,751,184人（0.90倍）と取得率が低下した。一般路線23路線のうち12路線で推計値による補正が必要となった

※ 一般路線は赤外線センサーデータおよびタウンスニーカー人員調査による。補正が必要な路線はアルピコ交通推計値。

■総括：一般路線の利用者数

①路線別年間利用者数

一般路線

	年間利用者数
信大横田循環線	436,183
横田信大循環線	423,590
浅間線	192,175
新浅間線	11,358
北市内線(東まわり)	27,575
北市内線(西まわり)	41,394
北市内線_蟻ケ崎経由	107,243
美ヶ原温泉線	204,390
並柳団地線(秀峰経由)	14,395
並柳団地線(相澤病院経由)	14,520
寿台線	84,076
松原線	33,348
内田線	12,115
山形線	73,098
四賀線	41,829
四賀線:保福寺/化石館	7,930
空港今井線_下今井	33,461
空港今井線_空港	87,869
大久保工場団地_神林線	29,182
岡田線	39,881
鹿教湯温泉線	8,509
アルプス公園線	11,576
南部循環線	18,668
一般路線合計	1,954,365

（赤外線センサーデータより。補正が必要な路線はアルピコ交通推計値）

タウンスニーカー

	年間利用者数
タウンスニーカー北コース	100,309
タウンスニーカー東コース	212,367
タウンスニーカー南コース	44,928
タウンスニーカー合計	357,604

（タウンスニーカー人員調査より）

	年間利用者数
合庁ライナー	6,593

（タウンスニーカー人員調査より）

全アルピコ路線合計	**2,318,562**

- 赤外線センサーデータ集計およびタウンスニーカー人員調査による令和７年度の一般路線の利用者数合計は2,318,562人。令和６年度測定時の2,285,236人より３万人超の増加（1.5%増）となっている。
- 令和６年度に比べ、一般路線 1,946,498→1,954,365人（0.4%増）、タウンスニーカー 330,243→357,604人（8.3%増）、合庁ライナー 7,586→6,593人（13.1%減）。増加分の大半はタウンスニーカーで一般路線はほぼ横ばいとなっている。

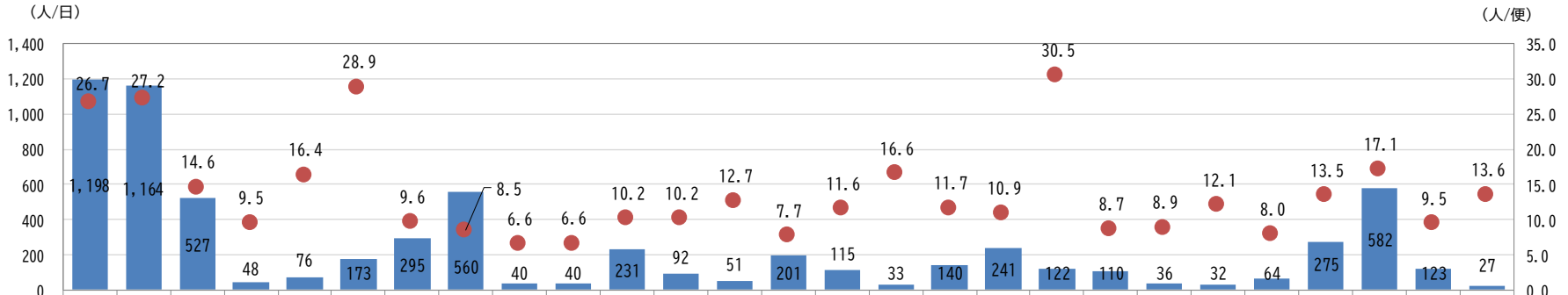
【参考】アルピコ交通公表の乗車人員 （アルピコ交通報告より） ※一般：一般路線、ＴＳ：タウンスニーカー、合庁：合庁ライナー

単位：人

令和7年度	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	3月	年度合計
一般	191,126	170,522	161,506	188,852	173,877	176,905	193,682	147,986	159,729	123,775	116,216	181,519	1,985,695
TS	27,025	31,892	30,258	37,384	41,445	32,353	31,309	27,690	25,115	23,545	22,425	27,163	357,604
合庁	595	506	566	631	508	538	552	464	592	555	493	593	6,593
合計	218,746	202,920	192,330	226,867	215,830	209,796	225,543	176,140	185,436	147,875	139,134	209,275	2,349,892

■総括：一般路線の利用者数

②１日あたり・１便あたり利用者数



	信大横田循環線	横田信大循環線	浅間線	新浅間線	北市内線（東まわり）	北市内線（西まわり）	北市内線_蟻ケ崎経由	美ヶ原温泉線	並柳団地線(秀峰経由)	並柳団地線(相澤病院経由)	寿台線	松原線	内田線	山形線	四賀線	四賀線:保福寺/化石館	空港今井線_下今井	空港今井線_空港	大久保工場団地 神林線	岡田線	鹿教湯温泉線	アルプス公園線	南部循環線	タウンスニーカー北コース	タウンスニーカー東コース	タウンスニーカー南コース	合庁ライナー
■1日あたり利用者数(人/日)	1,198	1,164	527	48	76	173	295	560	40	40	231	92	51	201	115	33	140	241	122	110	36	32	64	275	582	123	27
●1便あたり利用者数(人/便)	26.7	27.2	14.6	9.5	16.4	28.9	9.6	8.5	6.6	6.6	10.2	10.2	12.7	7.7	11.6	16.6	11.7	10.9	30.5	8.7	8.9	12.1	8.0	13.5	17.1	9.5	13.6

【参考】令和2年度																											
	1日あたり	1,010	871	433	42	104	224	171	478	66	267	122	28	177	114	32	382	17	126	18	16	67	81	289	133	
	1便あたり	20.6	18.5	12.0	8.4	11.6	24.9	7.1	6.8	5.5	10.7	8.7	7.0	5.7	9.5	16.0	10.9	4.3	9.0	4.5	4.0	8.0	4.5	8.5	5.8		

- 上図は、一般路線の１日あたり利用者数と１便あたり利用者数を示したものである。
- １日あたり利用者数が最も多い路線は、信大横田循環線で1,198人、次いで横田信大循環線で1,164人、タウンスニーカー東コース582人、美ヶ原温泉線560人となっている。
- １便あたり利用者数が最も多い路線は、大久保工場団地・神林線30.5人、北市内線（西回り）28.9人、横田信大循環線27.2人、信大横田循環線の26.7人である（※大久保工場団地・神林線は往復で1便扱いとなっているため、往復で2便と考え、利用者を2で割った数値としている）。
- 令和６年度に比べ、 大久保工場団地・神林線が再編により1便あたり利用者数が大幅に増加となった。その他、タウンスニーカー北コースで2.0人の増加、寿台線が2.8人減、岡田線が2.3人減、合庁ライナーが2.0人の減となっているほかは、ほぼ横ばいで大きな増減はみられない。